

八丈管内の遺伝資源の収集・評価・保存

【研究概要】

八丈島には貴重な園芸植物の品種や系統が存在するので品種改良素材としてこの品種群を維持し、有効活用法について検討する。また、新規に品種・系統を導入し、性状の把握、栽培技術の検討を行う。

- (1) 菊池レモン：白色防虫ネットハウスの果実は、耐風強化型ビニルハウスと遜色なく、1年生苗定植ではLサイズが多かった。本結果は白色防虫ネット栽培の果実も「八丈フルーツレモン」として認められ、ネットハウス設置も都・町の事業対象とする根拠となった。
- (2) パッショングルーツ：無処理区に比べ、曇天を模した遮光区で総着花数が顕著に少なく、補光強区で多くなったが、奇形花発生の軽減効果はみられなかった。
- (3) 口べ優良系統について 2014年・2020年交配苗育成を継続している。
- (4) 口べ幼木に塩水を散布すると、付着塩量は葉の中央部で多かった。小葉の障害は先端の小葉から現れるが、次第に基部の小葉で大きくなつた。
- (5) 塩水に瞬時浸漬してから12時間経過すると、真水浸漬による除塩時間に関わらず3日後から障害が現れることから、出荷の際に注意を要することが分かった。